



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより No.15
令和7年 5月26日
文責:校長 酒井 健

◇すてきな風景は気持ちがいいですね。

校舎の中で、いつも感心しているのは、実は、下駄箱なんです。かかとがそろっていて、ピシッという感じなんです。子どもたちは、習慣化しているのでしょうか。いつも、そうきれいにくつが揃えられています。

くつを揃える、あいさつをする、廊下に落ちているゴミを拾う、ありがとうと礼ができる・・・当たり前のことを当たり前

にできること、これは簡単そうで、難しいことだと思います。安積三小の子どもたちには、当たり前のことを当たり前

にできる、そんな子どもたちに育ててほしいと思います。



◇全校生で交通安全教室が行われました。

5月20日(火)、安積三小では交通安全教室が行われました。低学年は、「歩道の安全な歩き方」、中学年・高学年は、ビデオ等による「自転車の安全な乗り方」を学ぶことができました。低学年は実際に学校の近くの歩道を歩いて、どこにどんな危険があるのか、どこでどのような注意が必要なのかを学習することができました。この日は、交通安全母の会の皆様、育成会の皆様のご協力をいただきました。常に子どもたちの安全安心を見守ってくださっていることに、心から感謝いたします。暑い中、子どもたちへのご指導、ありがとうございました。



◇プールの清掃をボランティアで行っていただきました。

5月20日(火)の午後、安積三小のプールをボランティアで清掃して下さった方々があります。行っていただいたのは、株式会社「エンドウ」様の皆様です。会長の遠藤純一様は、安積三小の卒業生であります。

当日は、専門の機材や水の処理のためのトラックなどでプールの汚れをきれいにしてくださいました。おかげさまで、今年の水泳の授業も、気持ちよく行うことができます。本当にありがとうございました。



校長のひとりごと

少し前の話です。携帯に教え子のお父さんから久しぶりに連絡がありました。「娘が東京から帰ってきているんだけど、酒井先生に会いに行ってもいい？」という内容でした。その子を担任していたのは、今から20年前のことです。その子を担任した後、私は別の学校に転任したため、本当に20年ぶりの再会でした。夕方、学校に来たその子は、立派なお姉さんになっていました。でも、話をしていると不思議なものですね。20年前にタイムスリップです。現在、その教え子は、東京でプロのヴァイオリニストとして活躍しています。今の安積三小の子どもたちにも10年後くらいに、どこかで「校長先生ですよ！」なんて言ってほしいのですが、誰も、校長なんて覚えていませんよね。残念！！でも、目の前の子どもたちも立派な大人に成長していくことでしょうね！